



International Student Center News

金沢大学留学生センター ニュース



vol. 3

March 2000

かなざわ だいがく りゅうがく せい

金沢大学留学生センターのことを

りゅうがく せい

みな

し

留学生の皆さんは知っていますか

留学生センターは、外国人留学生及び海外留学を希望する金沢大学の学生に、必要な教育及び指導助言等を行うことにより、本学における留学生交流の推進に寄与することを目的として、1995年4月に設置されました。つまり、留学生の皆さんに、日本語や日本文化を勉強するプログラムを提供したり、留学生生活や勉強に関わる様々なアドバイスを行ったりするのが私たちの仕事なのです。

今回のセンターニュースでは、このような私たちの仕事を留学生の皆さんに理解していただくため、留学生センターの関わる5つのプログラムの紹介をしたいと思います。

なお、留学生センターについての情報は、金沢大学留学生センターのホームページに公開しています。アドレスは、<http://www.kanazawa-u.ac.jp/ryuugaku/> (日本語版)、および<http://www.kanazawa-u.ac.jp/ryuugaku/eg/kaish.html> (英語版)です。本年4月から、これまでよりも頻繁に更新することが可能になり、留学生の皆さんに、より多くの重要な情報をより早く提供できるようになるのではと私たちも期待しています。ぜひ一度訪れてみてください。

留学生の皆さんへ..... 1

プログラム紹介..... 3

金沢大学総合日本語コース

金沢大学短期留学プログラム

日本語研修コース

日本語・日本文化研修コース

韓国理工系・学部留学生コース

平成12年度定期健康診断新日程表(案)..... 12

留学生の入国在留審査の簡素化について..... 13

スタッフ紹介



留学生センター長
大橋 信喜美

リョウがくせい みな 留学生の皆さんへ

例年になく長く感じられた冬も過ぎて、北陸にも春が返ってまいりました。桜の花も今を盛りと咲き誇る季節です（この撰文が皆様の手が届く頃にはその季節は終わっているかも知れませんが）。「花は桜木、人は武士」と、その散り際の潔さの中に、日本の武士道精神をくみとる人も多いようです。あるいは、待ちこがれた満開のあと幾ばくもなく散りゆく様の中に人生の哀感を感じとる人もおられるでしょう。かように、桜の花は、日本人には、格別の意味あいを持って見られる花です。同一の事象に接しても、人により、時により思いは様々です。留学生の皆さんは桜の花を見て、どのような思いを重ねられるのでしょうか。金沢にも、桜の名所があちらこちらにあります。機会があれば、桜見物に出かけられ、それぞれの思いを書き留められ、あるいは語り合っては如何でしょうか。桜の花に事寄せて、この国の文化とお国の文化の違いについて論じ合ってください。留学生の皆さんがこの国の事を知る良い機会の一つになろうかと考えます。皆さん方は、それぞれに困難を克服して留学を実現され専門分野の勉学・研究に励み、祖国の発展に寄与をしたいと、あるいは、自身の上昇の機会を掴みたいと考えておられることとは思いますが、さらにつけ加えて、国際交流の架け橋たらしめんとする志を是非持っていただきたいと願っています。

55年前(1945年)日本は戦いに敗れ、国の形も個人の生活も一から作りなおす事を余儀なくされました。この間、日本国民一人一人の努力に加え、外国からの様々な協力を受けながら今日に至ったことは周知の事実です。国際交流と国際協調が日本の重要な施策の一つであることは、日本人ひとりひとりが身をもって感じているはずですが、国民性のゆえか、実際の行動となつて外に現れにくい傾向があります。どうか、留学生の方からも積極的に働きかけてください。それぞれに異なる祖国を持ち、異なる宗教を持ち、異なる生活習慣を有している者たちが、互いの国家、文化、社会を尊重しつつ相互理解を深めることは、云うほどに、たやすくはありません。身近なところから、例えば、日本人学生を誘って図書館や資料館に足を運び、昨年、新制大学として創立50周年を迎えた金沢大学の歩んできた跡に触れてみるのは如何でしょうか。加賀藩・輪庭所にその起源をみることで出来る本学の礎てきた道をたどることにより、この国(日本)、この町(金沢)の歴史の一端がうかがい知れることと思います。わが国の代表的な城下町と言われるこの町の佇まいの中に伝統的な日本の風景を見つけて、留学生の皆さん方は何を感じ、何を考えられたかを、是非、告げてほしいものです。留学生として、本学に学びこの町に住み「外国人」を満喫することは、人生を謳歌するという意味では嬉しいこととは思いますが、それだけにとどまることなく、日々の行動の中により大きな国際交流へとつなげる心意気を忘れないようにしていただきたいと、願っています。

金沢大学での留学経験が有意義なものとなるようにと、関係者一同、心して留学生事業に取り組んでいるところです。このセンターニュースは、留学生と本学の学生・教職員を結ぶ架け橋の一つですが、互いに情報を交換し理解を深め合い大きな交流の輪が培われることを願っています。



留学生の
一年間

努力と達成感



しょうかい プログラム 紹介

かなざわだいがくそうごう にほんご
金沢大学総合日本語コース

かなざわだいがくたん きょうがく
金沢大学短期留学プログラム

にほんご けんしゅう
日本語研修コース

にほんご にほんぶん かけんしゅう
日本語・日本文化研修コース

かんこく りこうけい がくぶりがくせい
韓国理工系・学部留学生コース

かなざわだいがくそうごう にほんご 【金沢大学総合日本語コース】

これは、皆さんに最も身近なコースでしょう。金沢大学に在籍する留学生（学部学生、大学院生、研究生、特別聴講生）なら誰でも参加できるコースです。クラス定員に余裕がある場合に限り、金沢大学の外国人教職員、外国人客員研究員の方も参加できます。

このコースは、初級・中級・上級、それぞれ2レベルずつ、合計6つのレベルからなっています（A～F）。また、それぞれのレベル（Aクラスを除く）に対応する漢字クラスが週1コマずつあります。さらに、中級、上級の留学生に対して、読解、作文、講義の聴解、レポート作成、口頭発表技術、コンピュータによる論文作成という技能別のクラスも設けており、様々なニーズに応えられるようにしています。（詳しくは、授業等で配られる「総合日本語コース概要」をご覧ください。）

このコースは角間キャンパスと小立野キャンパスの両方で開講されますが、小立野キャンパスの方では一部開講されないクラスがあります（技能別クラスと漢字中・上級クラス）。また、角間キャンパスの授業はすべて午前中にあります。注意してください。

このコースを初めて受ける場合には、学期の始めに行われるプレイスメントテストを受けなければなりません。各学部の掲示に注意して忘れずに受けるようにして下さい。コースを継続して受ける留学生は、このテストを受ける必要はありません。

（留学生の皆さんに一言：どのレベルの授業を受けるのかは、担当教師が決めます。決して自分で判断して勝手に授業を受けるようなことのないようにお願いします。）

参考までに、このコースは留学生の皆さんに大変よく利用されているコースです。私たちの以前行った調査によると、金沢大学に在籍する全留学生のおよそ半数がこのコースを受けているか、または受けた経験があると答えています。平成11年度秋学期では、28カ国からの105名の留学生が受講しています。

なお、春休みおよび夏休み中には特別課外補講があります。休み中に日本語の力を落とさないためにも、総合コースだけでなくこの休み中の授業も利用してください。

かなざわだいがくたん きりゅうがく
【金沢大学短期留学プログラム】

金沢大学短期留学プログラム (KUSEP: Kanazawa University Student Exchange Program) は、金沢大学と交流協定を結んでいる海外の大学から学部3、4年生又は大学院修士課程の学生を受け入れ、日本人学生との交流を通じたより深い日本理解をめざして、1998年に開設されました。このプログラムは日本語、日本事情・日本文化、専門科目から成り立っており、講義は日本語の授業を除き英語で行われるのが特徴です。日本事情・日本文化と専門科目の講義は学部の先生、外国語教育センター、留学生センターの先生が担当しています。日本語は留学生センターが全学の留学生のために開設している日本語総合コースに入り、各留学生レベルに適したクラスで学習します。留学期間は普通1年間で、毎年10月に始まり翌年の9月に終わります。自分の大学の学年暦の都合で留学期間が6ヶ月間の学生も少数います。1年間でプログラムの科目の中から合計20単位以上を履修した学生には修了証が授与されます。取得した単位はそれぞれの派遣元の大学の判断で単位互換されるともあります。

このプログラムが始まって現在は第1期目（1999年10月～2000年9月）に入っていますが、中国の蘇州大学、インドネシアのバンドン工科大学、タイのキングモンクット工科大学、チェンマイ大学、韓国のドンア大学、ホセオ大学、オーストラリア国立大学、アメリカのニューヨーク州立大学ニューボルツ校、ウィリアムアンドメアリー大学、タフツ大学、フィンランドのエバスキュラ大学、アイルランドのダブリンシティ大学、イギリスのシェフィールド大学、オックスフォード大学、リバプールジョンモアズ大学、フランスの第一ナンシー大学、ドイツのジーゲン総合大学、ロシアの国立カザン大学より来た合計28名の留学生を受け入れています。留学生は角間の留学生交流会館に住んでいて、講義もほとんどが角間で行われていますので、角間キャンパスに来ればKUSEPの学生と話すことができます。



にほんごけんしゅう 【日本語研修コース】

このコースは、主に大学院レベルの国費外国人留学生（研究留学生及び教員研修留学生）を対象として、日本で研究活動に必要な日本語能力を習得するため、6か月間で集中的に日本語を学習するコースです。月曜日から金曜日まで一日4コマの授業があり大変ですが、17週で全く日本語を知らない留学生が初級日本語（総合日本語コースのAクラス、Bクラスに対応）を習得することができるようにデザインされています。

さらに、専門分野での活動を視野に入れた訓練（日本語コンピュータソフトを使った文書作成、計算・作図、アンケート調査に基づく口頭発表プロジェクト等）を行っています。

時には授業を離れ、日本文化の体験や地域との交流を深めたりすることもあります。平成11年度は、普通や華道の実習、工場見学、小学校訪問、ホームステイ等を行いました。

研修の最後に、学習の成果を発表するプロジェクトがあります。平成11年度春学期までは、日本語での口頭発表プロジェクトを行ってきました。これは留学生が自分でテーマを選び、日本人に自らインタビューして集めたデータに基づきレポートをまとめ、日本語で発表するというものです。

平成11年度後期は、これまでと趣向を変え留学生に寸劇（漫画「サザエさん」より）を演じさせるドラマプロジェクトを行いました。これは私たちも初めての試みで多少心配しましたが、当日は多数の方が見に来られ、また留学生たちも練習以上の成果を見せてくれました。

下は、今回のプロジェクトに関わったある先生からのコメントです。

—このドラマプロジェクトでは「日本の家族像」をテーマにしました。いろいろな日本の漫画や、金沢大学の学生へのアンケートから、日本人の父親や夫は権威を持っていると思われていますが、実は女性も強いことがわかりました。それで、ご主人が他の家族のいない時に奥さんに優しくするとか、あやまるとかのシーンをドラマにしました。他の家族がいない時にするのは日本人は愛情を表現することは恥ずかしいと思っているからです。しかし、現代はだんだん妻に対する優しさが要求されてきました。少し前の

日本では料理は女性がするものだと考えられていました。しかし今回の調査によると、金沢大学の学生は男性が家事や育児をするのは男らしくないとは思っていないようです。

ドラマでは、発音も難しいですが、演技も難しいです。「あ、雨が降ってきた!」と言うだけでも、何回も練習しました。たくさんの方の前でドラマをするのはとても恥ずかしかったと思いますが、みんなとても上手にできました。発表の後で、「日本人の気持ちが少しわかってきた」「とても楽しかった」と話してくれました。



【日本語・日本文化研修コース】

外国の大学に在籍し、日本語や日本に関することを学ぶ学部レベルの国費外国人留学生が、より一層の日本語能力向上と日本理解を深めるための1年間のコースです。日本語の授業の他、日本文化・日本事情の授業も受けます。

日本文化・日本事情では、日本人の暮らしや社会について本学教官の講義を受けるほか、古い歴史をもつ金沢の伝統文化についても、実際に技術を持った人を講師に招き、見学や実技を交えて学びます。

また、留学生は自分の興味あるテーマを一つ選び、最後にレポートを提出することになっています。

以下は、このコースのコーディネーターからの平成13年度の報告です。

日本語・日本文化研修コースがスタートして5年目。一層充実したプログラムを目指して今年度は次のような新しい試みを実施してみた。

1) 日本事情科目のカリキュラム

1年間のメインテーマを「日本人の考え方」として、政治、経済、産業、生活、伝統芸術、言語、文学、教育、宗教という観点から日本人の考え方を考察するカリキュラムを立てた。各セクションにおいて学生2～3名に発表してもらい討論会を行った。ミニ発表や討論会を取り入れることによって、問題意識を持って講義を聴き、研究テーマについて追及する姿勢を養うことを目的としている。

2) 日本文化体験と現地見学

成人式体験、陶芸体験、七宝焼き体験、和菓子作り、俳句作りと句会、中学・高等学校訪問、お能鑑賞、座禅体験、富永町西海祭り、日本料理教室は新たに導入した日本文化体験である。それらに加えて金沢巡り、茶道体験、大塚美術館見学、花道体験、畳・板金・表具・瓦などを用いた制作体験、味噌工場見学、大野からくり記念館見学なども行った。

3) 合宿

春休み中に「能登青年の家」で2泊3日の合宿を行った。中間発表の準備、日本人ボランティアチューターとの交流活動、日本文化体験が主な目的である。各学生に自分の研究テーマについて発表をしてもらい、それについて質疑応答を行う発表会を2部に分けて

行った。自分たちで司会をやり、主体的に討論を行うことにより充実感が生じ、よい刺激になったことと思われる。勉強も遊びもできた楽しい合宿であった。

4) ボランティアチューター制度

同年代の日本人学生のものの方・考え方を直に知ることによって、日本社会・文化についての理解を深める目的でボランティアチューター制度を発足した。5学部から14人の日本人学生が積極的に交流活動に臨んでくれている。日研生の発表・レポートの手伝い、生活のサポートのみならず、クッキング・パーティーなどの楽しいイベントも開催している。ボランティアチューターは春休み合宿にも参加し、討論や文化体験などに加わった。

5) 里親制度

金沢をいつでも帰れる第二故郷にしてもらうために、田上公民館の協力を得て里親制度を導入した。1年間同じ家族と気軽に付き合えるように、学生一人につき一家族を対面式を行い紹介した。里親と共に金沢を見学したり、田上公民館のイベントに参加したりすることによって、大学外の世界も垣見ることができたことと思われる。



かんこく り こうけい がく ぶ りゅうがくせい はじ 「韓国理工系・学部留学生コース」が始まります！

2000年10月より韓国から学部留学のため予備教育生たちが金沢大学にやってきました。コースの正式名称は「日韓共同理工系学部留学生受入事業」と言っており、韓国の高校で優秀な成績を修めた理工系志望の高校卒業及び卒業見込み生を直接、日本の国立大学に受け入れようというプログラムです。現在受け入れを表明しているのは全国25大学で、金沢大学もその1つです。

このコースに参加する候補学生はまず韓国国内の所属高校から推薦を受けた上で韓国側主催の第1次選考に合格しなければなりません。この選考で候補学生は100名に絞られ、韓国の慶熙大学国際教育院という機関で半年間、日本語教育と専門教育（数学・物理・化学）と英語教育の予備教育を受けます。私たち金沢大学はこの3月中旬に慶熙大学の予備教育の現場を直接見学してきましたが、ちょうど韓国での予備教育が始まったところでした。そして、8月上旬に今度は日本側主催の配置試験を受けて日本での受入大学が決定し、10月から翌年の3月まで各国立大学の留学生センター等で日本語教育を中心とした予備教育が引き続き行われて、4月から各大学の受入学部に1年生として入学するという仕組みになっています。金沢大学では工学部が受入学部で、初年度は5名を受け入れ、将来的には10名まで受入枠を増やすことになっています。

金沢大学での予備教育の内容は、日本語教育、日本事情見学、専門教育から成っていて、留学生センターと工学部が中心となって全学協力体制で行うことになっています。日本語教育は午前中が留学生センターの「総合日本語コース」を受講し、午後からこのコースのため新たに授業を設けます。週に1回は金沢の町に出ていろいろな伝統文化に触れる機会もつくる予定です。また専門教育では工学部の協力により、韓国での専門教育から金沢大学工学部1年次の授業への橋渡しとなるような授業が行えるように現在内容を検討しています。

いずれにしても、今までに私たちが経験したことのない学部留学を目指した予備教育である上、学生の出身国が韓国1国に特定されたコースであること、候補学生の平均年齢が17～18歳と若いこと、外国生活における精神的なケアが十分にできるか等、準備段階の今から期待と不安が入り交じった状態です。しかしながら、私たちはこのコースの成否が21世紀の日韓関係の構築に繋がるに違いないという決意で一生懸命取り組んでいきたいと考えています。今後とも学内外の御支援と御協力のかさをよろしくお願い申し上げます。



ど
り
よ
く
た
つ
せ
い
か
ん

努力と達成感



平成12年度定期健康診断日程表(案)

場所	実施日	診察受付時間	男女別	受診対象学部等	人数
工学部地区	4月20日(木)	13:00~16:30		工学部3・4年生	約560名
工学部内 (英学生会館)	4月21日(金)	13:00~16:30			約620名
	4月24日(月)	13:00~16:30		自然科学研究科生(前期課程・後期課程)	約450名
宝町地区	4月26日(水)	13:00~14:30	男子	医学部医学科3・4・5・6年生 医学部保健学科3・4年生	約430名
		14:30~16:30	女子	医学部医学科3・4・5・6年生 医学部保健学科3・4年生	約450名
保健学科棟内 (小立野体育館)	4月27日(木)	13:00~14:30	男子	薬学部3・4年生 医学研究科生、自然科学研究科生(前期課程・後期課程)	約550名
		14:30~16:30	女子	薬学部3・4年生 医学研究科生、自然科学研究科生(前期課程・後期課程)	約300名
角間地区 本部棟 保健管理センター 学生部ホール及び 第4会議室	5月8日(月)	13:00~14:30	女子	学部1年生・法学部、工学部(物化)	約120名
		14:30~16:30	男子	学部1年生・法学部、工学部(物化)	約210名
	5月9日(火)	13:00~14:30	男子	学部1年生・文学部、教育学部、理学部(化学、生物、数)	約220名
		14:30~16:30	女子	学部1年生・教育学部、理学部(化学、生物、数)	約190名
	5月10日(水)	13:00~13:50	女子	学部1年生・経済学部、薬学部、工学部(土木)	約110名
		14:00~16:30	男子	学部1年生・経済学部、薬学部、工学部(土木)	約290名
	5月11日(木)	13:00~14:30	男子	学部1年生・工学部(機械、電気、人間)	約280名
		14:30~16:30	女子	学部1年生・工学部(機械、電気、人間)、文学部	約130名
	5月12日(金)	13:00~14:30	男子	学部1年生・医学部(医学科、保健学科)、理学部(物理、地球、計測)	約160名
		14:30~16:30	女子	学部1年生・医学部(医学科、保健学科)、理学部(物理、地球、計測)	約190名
	5月15日(月)	13:00~14:50	男子	学部2・3年生(学部指定なし) 教育学部4年生、教育学研究科生、特殊教育特修生及科生	約530名
		15:00~16:30	女子	学部2・3年生(学部指定なし) 教育学部4年生、教育学研究科生、特殊教育特修生及科生、看護学部4年生	約400名
	5月16日(火)	13:00~13:50	女子	学部2・3年生(学部指定なし) 理学部4年生、社会福祉科学研究科生	約250名
		14:00~16:30	男子	学部2・3年生(学部指定なし) 理学部4年生、理学研究科生、社会福祉科学研究科生	約300名
	5月17日(水)	13:00~14:30	女子	学部2・3年生(学部指定なし) 自然科学研究科生(前期課程・後期課程)	約250名
		14:30~16:30	男子	学部2・3年生(学部指定なし) 自然科学研究科生(前期課程・後期課程)	約300名
	5月18日(木)	13:00~14:30	男子	学部2・3年生(学部指定なし) 経済学部4年生、経済学研究科生	約330名
		15:00~16:30	女子	学部2・3年生(学部指定なし) 経済学部4年生、経済学研究科生	約330名
	5月19日(金)	13:00~14:30	男子	学部2・3年生(学部指定なし) 法学部4年生、法学研究科生	約300名
		15:00~16:30	女子	学部2・3年生(学部指定なし) 法学部4年生、法学研究科生	約400名
	5月22日(月)	13:00~14:30	女子	学部2・3年生(学部指定なし) 文学部4年生、文学研究科生	約250名
		14:30~16:30	男子	学部2・3年生(学部指定なし) 文学部4年生、文学研究科生	約360名

留學生の入国在留審査の簡素化について

Simplification of Residence Procedures at the Immigration Bureau

法務省は、高等教育機関に受け入れられる留学生については、相当の学力を有し、出入国管理上問題となる事案も少ないことから、できる限り簡素な手続きでその入国・在留を認めることにし、平成12年1月から実施しています。具体的には、教育機関における在籍管理の徹底を要請し、定期報告を課した上で、経費支弁能力を示す資料等の提出書類を簡素化しています。また、教育機関の職員による代理申請又は取次申請を行なう場合は、入学許可書又は在学証明書を不要としています。

在留資格「留学」に関わる提出書類の簡素化については次のとおりです。

I. 在留資格認定証明書交付申請

- 1) 在留資格認定証明書交付申請書
- 2) 写真2枚 (40mm×30mmサイズ)
- 3) 入学許可書の写し (学部、学科、課程等が記載されたもの)
- 4) 研究内容が記載された証明書又は聴講科目および時間数が記載された履修証写し等の証明書

A. 教育機関の職員による代理申請

- 1) 及び2) (研究生及び聴講生については1)、2) 及び4))

B. 上記A以外の申請

- 1)～3) (研究生及び聴講生については1)～4))

II. 在留資格変更許可申請

原則として(1)と同様とします。

(注1) 申請書は在留資格変更許可申請書を使用してください。

(注2) 写真は不要です。

(注3) 教育機関に職員による「代理申請」は「取次申請」と読み替えます。

III. 在留期間更新許可申請

- 1) 在留期間更新許可申請書
- 2) 在学証明書
- 3) 成績証明書
- 4) 研究内容が記載された証明書又は聴講科目及び時間数が記載された履修証写し等の証明書

A. 教育機関の職員による取次申請

- 1) 及び3) (研究生及び聴講生については1) 及び4))
- B. 上記A以外の申請
- 1)～3) (研究生及び聴講生については1)、2) 及び4))

上記いずれの申請の場合においても、学力状況が良好でないことが明らかになる等、審査の過程で必要と認められるときは、経費支弁能力を示す資料、履修書、最終学歴に係る証明書等その他参考となる資料の提出を求める場合があることはこれまでと同様です。

As of January 2001, the Ministry of Justice has simplified residence procedures at immigration bureaus for foreign students with 'College Student' visa status, or for those who are going to obtain the same status at higher education institutions. While the Ministry of Justice obliges universities to continue to report student enrollment, the requirements, including the submission of financial statements to the immigration bureau, have been reduced. Moreover, when university staff submit applications on behalf of applicants, letters of admission and certificates and enrollment, as issued by the university, are no longer required.

The simplification of requirements regarding 'College Student' visa status is as follows:

I. Certificate of Eligibility for Status of Residence

- 1) Application form for Certificate of Eligibility for Status of Residence
- 2) Two photographs (40mm×30mm)
- 3) Copy of official letter of admission(including school, department, course, etc.)
- 4) Official document outlining the student's intended research or copy of official document listing subjects and hours

A: Applications by university staff acting as proxy

Documents 1) and 2)

*If the applicant is a research or auditing student, documents 1), 2) and 4)

B: Application by proxy other than A

Documents 1), 2) and 3)

*If the applicant is a research or auditing student, documents 1), 2), 3) and 4)

II. Change of Status of Residence

As a rule, requirements are the same as for 'I'. Please note:

- 1) Application form for Change of Status of Residence should be submitted.
- 2) Photographs are not necessary.
- 3) Applications may be submitted by university staff on behalf of the applicant.

III. Extension of Period of Stay

- 1) Application form for Extension of Period of Stay
- 2) Certificate of enrollment
- 3) Official transcript of academic records
- 4) Official document outlining the student's intended research or copy of official document listing subjects and hours

A: Application by university staff acting as proxy

Documents 1) and 3)

B: Application by a proxy other than A

Documents 1), 2) and 3)

*If the applicant is a research or auditing student, documents 1), 2) and 4)

With regard to the above: The immigration bureau will request additional documents if an applicant's academic status is deemed unsatisfactory or if the screening processes necessitates it. Additional documents refer to proof of finance, curriculum vitae, school diplomas, etc.

しょうかい スタッフ紹介



小島 孝雄 (留学生センター)

KUJSEP (金沢大学短期留学プログラム) を担当しています。趣味は自然の中を歩き回り、自然を見、感じることです。同じような趣味のある人は是非一緒に行きましょう。



原 洋子 (留学生センター)

心理学の勉強をしていた学生時代、留学生のクラスメートがいっぱい。以来、様々な文化と接する機会が増え、文化と人間関係の付き合いに興味を持つようになりました。異なる文化の価値を持つ人たちの付き合いを楽しみにしています。困った時だけでなく、話し相手が必要な時にはいつでも連絡してください。



西田 洋子 (留学生センター)

今年は3月から7月まで中国長春市の東北師範大学赴日留学生予備校で中国人の若い研究員と一緒に日本語を勉強しています。私自身もサバイバル中国語を使って生活して、外国語を学ぶ楽しさと楽しさを体験しています。



長野 ゆり (留学生センター)

私も昔、留学していたことがあるので、留学生の皆さんの苦悩はよくわかります。皆さんに「楽しかった。日本に来てよかった!」と言ってもらえたら、とても幸せです。そう言ってもらえる教師を目指します。



大橋 優美 (留学生センター長)

留学生、国際交流、国際化は本学の重要なキーワードです。留学生センターが本学の国際化の核となるようにと努めています。



佐 正志 (留学生センター)

留学生の皆様、こんにちは。私は日本語を教えています。世界のいろいろな言葉に興味があります。ぜひみなさんと、みなさんの母国についてお話をしたいですね。



太田 孝 (留学生センター)

こんにちは。今年から新しいコースの担当になりました。10月に韓国から来る工学系学部予備校生のお話をします。新しいコースなのではりきってやるつもりです。



リケルメ / パリバワダナ (留学生センター)

皆さんにとって金沢大学での留学生生活が充実したものとなるように力の限り手助けをさせていただきますと思っています。皆さんと共に成長していける教師になれたらと願っています。



注川 マイケル (留学生センター)

初めまして、注川マイケルと申します。本学で勉強する留学生に有意義な学生生活を送ってもらおう、頑張りたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

金沢大学留学生センターニュース 第3号

2000年3月31日発行

発行 金沢大学留学生センター

〒930-1192 金沢市舟町

TEL (076) 264-5188

FAX (076) 234-4043